

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。
ご意見をお聞かせください。



しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会
News

第39号

2010年 12月 9日
編集責任者 元木計文
047-355-8526
部内資料

来年4月の市議会議員選挙 4度目のチャレンジです!

市議会議員 元木 美奈子



私は、困った時に活用できる制度づくりを議会でも粘り強く取り上げ、行政に働きかけてきました。ところが、いざ活用となると様々な要件を課せられ、「帯に短し襷に長し」という制度が多く、直に相談事は解決せず、苛立ちを抱えながらの毎日です。生活相談を受けたことで、既存の制度の不十分さに気づかされます。

共産党議員としての私の生活相談などの主な活動地域は、入船、美浜、日の出、明海です。この地域の住民の多くは、分譲住宅を購入し住むことができない一定の資産を有する経済的にもゆとりある人々です。そのためにもゆとりある人々です。そのために生活保護受給の相談や生活福祉資金融資の相談などは、この10年間全くありませんでした。ところが、昨年末から、生活困窮のために何とかしてほしいという深刻な相談を月に1件程度受けています。生活困窮は特に住宅困窮につながり、安い県営・市営住宅に入居したいという相談や、浦安市が窓口になっているものの県が実施主体の融資相談です。また、これらの方々の多くは国保税・住民税を滞納し、学校給食費や医療費の支払いにも困っています。

切実な住民の願いに
応えるのが
自治体の使命

2011年は一斉地方選挙の年!

新春のつどい



2011年一斉地方選挙まで、あと4ヶ月余りとなりました。
元木美奈子さん、井原めぐみさん、みせ麻里さんの再選を目指す「新春のつどい」を2月に行います。

現職3議席の再選のために「新春のつどい」には、是非お知り合いの方お誘いのうえ、ご参加下さい。

- 日時 2011年2月13日(日)
12時30分開会(12時開場)
- 会場 市民プラザ WAVE101 大ホール
- 会費 2,000円(小学生まで無料)
- 内容 楽しく・元気の出る催しを企画中
- 連絡先 元木 355-8526
- 共催 日本共産党浦安市後援会
日本共産党浦安市委員会



赤旗まつり会場
で決意表明
する元木美奈子議員
=11月6・7日

みなさん、このように暮らしや地域経済が大変な中で、来年4月一斉地方選挙を迎えます。地方自治法第1条では、自治体の基本的役割として「住民の福祉の増進を図ること」をあげていますが、「住民福祉」とは、狭い意味の福祉ではなく、住民の利益を広く前進させて行くことを指していると考えられています。「住民を守る」ことが自治体の仕事ということが分かります。ところが、民主党政権は、「地域主権改革」という名

で国の責任をなくし、自治体に自立をせまる構造改革路線をさらに推進する法案を準備中です。自治体は「住民を守る」最低限の仕事さえ維持できなくなってしまうのです。
みなさん、このような国の政治の動きの中で一斉地方選挙が行われます。
私は「切実な住民の願いに応えるのが自治体の使命」——この立場で、国と自治体への運動をすすめて、願い実現に全力をあげます。
よろしくお願ひします。



私（男性）の介護体験 第7回

美浜四丁目 伊那三郎

5. 介護における心の葛藤

介護に当たっては、介護人の心の持ち様が肝要です。正直に言えば、今でも疲れたり、仕事が多忙でいらしている時は、妻の要望に対して、つい声を荒げる事があります。初めの頃は、自分の生活の大部分を妻の介護のために費やす事に納得できなくなる事も時々ありました。



私が最初に考えた事は、「この病気に自分になったら」と言う事でした。一番悔しく、切ない思いをしているのは病人本人です。自分の喉が渴いたらお茶が飲みたくなるし、体が痒くなったら、当然掻きます。それが自分でできないとしたらどうでしょうか？自分でできない事を夫に頼んで何で嫌な顔をされなければならないのでしょうか？

次に考えた事は、「天罰かな」と言う事です。若い時は、朝起きた時には妻は既に仕事に出かけ、夜、私が終電間際で帰ってくると、家族全員寝ているような状態が示す様に、仕事等に没頭してきました。海外も合わせれば、単身赴任期間は結婚生活の半分以上に及びます。罰が当たって、「奥さん孝行をなさい」と言う天の導きかなと言う思いです。最も、私は宗教にこだわっていませんし、「天罰」というのも適切な言葉でないとは思いますが。

もう数ヶ月前にテレビ（NHK）で放映していた事です。妻を介護していた老夫の、「妻と私は一心同体だよ」という言葉にはぴったり来るものがあります。40年近く連れ添った妻には上記の言葉が合っているように思います。この感情を言葉に表すのは難しいのですが、介護の場面では、例えば、妻が「喉が渴いた」と言えば、自分の喉が渴いたと自然に思い、身体が動くといった感じです。上述の“最初に考えた事”の進化形と言ったところでしょうか。実際には、ほとんど聞き取れない、聞き分けられない声で呼ぶ妻に「なんだよ」とつい大きな声を出してしまう事が続いています。



最近、仏教の本を読みましたが、「正しい行いを続ける事は、悟りへの道の

一つである」というような文章がありました。“嫌だ”と思う気持ちでやっていると、本当に嫌になり、心が乱れてきます。安定した“無の”気持ちで介護をする努力を続けていけば、自然に安定した気持ちになれることを実感しています。妻に感謝です。ただし、この為には、周りからのそれなりの支援が必要な事を忘れるわけには行きませんが。

(次号に続く)



お知らせ。

望年会

落ち葉が風に舞い寒さが一段と厳しくなってきました。

民主党政権に変わっても、私たちの暮らしは悪くなるばかり、日本中に閉塞感の木枯らしが吹いています。来年4月の一斉地方選挙まで、半年をきりました。

市議選大勝利を目指し、未来を展望する望年会を行います。みなさん奮ってご参加下さい。



■ 日時 12月12日（日）17時～

■ 会費 1,000円

■ 場所 元木さん宅（TEL 355-8526）

■ 主催 日本共産党浦安市東部後援会



【中央舞台のひろば】

四年ぶりに、夢の島公園で「赤旗まつり」が行われました。晴天にも恵まれ十一月六日、七日の二日間、何と、十万人を超す人たちが来場し、会場は熱気で溢れていました。

市川・浦安の広場にも多くの後援会の人たちが参加し、浦安市後援会が用意したトン汁に舌鼓を打っていました。



【市川・浦安のひろば】

第四十回赤旗まつり

編集後記

赤旗の配達をしていると、夜明け前の東の空にひとときわ明るく輝く「明けの明星（金星）」が見えます。今、この金星に向かって飛行する探査機がいます。金星探査機「あかつき」です。

「あかつき」は今年の五月二十一日に種子島宇宙センターから打ち上げられ、金星探査の旅に出発しました。この「あかつき」が十二月七日に、逆噴射を行い金星の周回軌道に投入されます。後援会ニュースが配布されるころには結果が判明していると思いますが、成功すること祈りたいと思います。

さて、一年があつたという間に過ぎましたが、民主党政権に変わっても、相変わらず景気は回復せず、暮らしは苦しくなるばかりです。来年は一斉地方選挙が行われます。国の政治を正すには、まづ地方自治から。

日本共産党の議員は混迷の日本を照らすひとときわ輝く「明星」です。

十二月五日（M）